



↑ 昭島市のおいしゃさんの会からいわいずみ町へ
おくれた自どう車

いわ手県いわいずみ町のようすについて、この前のニュースで「まだ風がつめたく感じる日がありますが、少しずつあたたかくなり、さくらのつぼみがふくらむなど春のおとずれが目に見えてきています」とおつたえしましたが、だい4はんのときには雪がふり、気おんが0どより下がったようで、いわいずみがあたたかくなるのはもう少し先の様です。

4月13日に昭島市のおいしゃさんの会からいわいずみ町のためにおくれた「自どう車」は、15日の朝、だてかつみ町長さんにわたすことができました。また、いわいずみの新聞に昭島市のはけんたいの活動のようすが書かれました。

4回目にいわいずみ町へ行ったみなさんのほうこくです。

◎岩泉町派遣隊第4班

- ・行ったき間 4月14日(木)から4月21日(木)まで
- ・行ったしごと ひなんしょにいる人たちが自分の家やしごとに行くときの記ろく、ひなんしょへたずねて来た人へのあん内、生活にひつようなもののせい理。
- ※ 時間(1) 午前8時から午後3時まで
(2) 午後3時から午後10時まで

町の人たちやしよくいんの話

- このようなきだからこそ、今年も、昭島市の小学生と夏休みの交りゅうじぎょうをやってほしい。昭島市のくじらまつりにもさんかしたい。町のたて直しにむけてのきぼうになると思う。

町やくば

- 「さいがいたいさく本ぶ」から「さいがいふっこう本ぶ」という名前にかわり、町のたて直しにむけてうごき出した。

ひなんしょ

- いわいずみ町みんな会かに20人、町のホテルに150人がひなんしている。町みんな会かにひなんしている人はへってきている。
- ひなんしょからしごとに行ったり、自分の家を見に行ったりする人がふえてきた。



↑ ひなんしょのけいじばん

ホテルの中でふるやせんたくなどの用じをすませ、ひなんしょにもどる人が多い。

- せんたく用のかごなど、生活にひつようなものがまだ足りないようだ。

かりにすむ家

- 5月中にすめることを目指して、おもと地くの高い場しょの3かしょに、140家ぞく用のかりにすむ家がたてられている。

学 校

- ひがいの大きかったおもと小学校、中学校の子どもたちは、いわいずみ小学校の3かいに通いながらべんきょうしている。
- おもと地くの子どもたちは、これから、同じゅう生とべつべつの学校に通うことになるかもしれないことを少しかなしく思っているようだ。

生活にひつようなもの

- 地しんがおきたときから親せきの家などにひなんしている人のところに、生活にひつようなものがとどいていない。

おいしゃさん

- 人のたすけやくすりのひつような人たちが多く、ほけんしさんたちが休みの日もそうだんにのっている。

ほかのひがいの大きかった地く

- 町やく場ごとつなみでながされ、町長さんやしょくいんの4人に1人がなくなったり、どこに行ったか分からなくなったりしている「おおつち町」をはじめて見に行った。まちは、ものすごいこわれ方をしていた。

今もつづいている地しん

- 昭島市とちがい、地しんそくほうや、けいたい電話の音といっしょにすぐゆれる。

【北川市長からいわいずみ町へ行ったしょくいんにおくった言ば】

いわいずみ町よりもひがいの大きい町の話聞き、あらためて3月の地しんとつなみのすごさをかんじた。昭島市の地しんへのたいさくやくんれんの話し合いをするときに、よそうをこえた大きなさいがいのことをみんなにせつめいしてほしい。

【いわいずみ町へ行ったしょくいんのみなさんのかんそう】

はしもと ひろし さん

ひがいのあった場しょを見に行き、大つなみのひがいの大きさにおどろいた。なくなった人にたいして心からおいのりすることと、ひがいのあった場しょの一日も早いたて直しをねがっている。

うらの かずふみ さん

やくに立つのなら、二どでも三どでもおうえんに行きたい。

おかざき しげき さん

自分もひがいにあった町のしょくいんの人が、町の人たちのために一生けんめいにしごとをしているのを見て、心をうたれた。

やすはら しんいち さん

ひなんしょで、お年よりや子どもたちが、たすけ合っで生活していた。これからの生活への心ばいな気持ちをなくしていくことは、たいへんなことだと思う。

